

# 広報かみいち総合病院

第46号 令和3年(2021年)1月発行



編集・発行 かみいち総合病院 広報委員会  
〒930-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51番地  
TEL.076-472-1212 FAX.076-472-1213  
E-mail:kanri@kamiichi-hosp.jp  
URL:https://www.kamiichi-hosp.jp/



## 御挨拶

院長 浦風雅春

新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

私は令和2年(2020年)4月1日付で、かみいち総合病院長を拝命しました。長く務めた富山大学附属病院から、縁あって10年前の2010年に当院副院長・糖尿病センター長として赴任し診療に従事してまいりました。7代目の院長の任に当たり、たいへん身の引き締まる思いをしています。今後も院長として、上市町のみならず周辺地域の住民の皆様へ、安心・安全な医療を提供してまいりたいと考えております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に終始した一年でした。現在も、「第3波」ともいわれる感染拡大が続く中にあり、いまだ終息の兆しがみえていません。2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症は急速に拡散し、世界規模のパンデミックとなり、欧米では、医療崩壊が起こりました。日本においても感染者数は急増し、2020年4月には「緊急事態宣言」が発令され、多くの国民が制限された生活を強いられ、私たちの生活が一変してしまったことは、御周知のとおりです。富山県におきましても、医療機関や介護老人保健施設、カラオケ喫茶、サークル等でクラスターが発生し、この感染症の予防の難しさ・深刻さが、深く認識させられたところです。

当院では、さいわいにもこれまで、院内感染者・職員感染者を発生させることなく診療業務を継続しており、これも、皆様の御尽力・御協力のおかげと感謝申し上げます。患者様、御家族の皆様には、感染予防対策の一環として、入館時の検温・手指消毒・マスク着用、面会制限等、たいへん御不便をおかけしているところでありますが、状況を鑑み、今後とも御理解・御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種や治療薬の開発などにより、いずれ「季節性インフルエンザ程度の感染症」として扱われるようになる時が到来すると想定されますが、感染予防対策は普遍的なものであります。今後も引き続き、職員全員で感染予防対策を実践・徹底し、安心・安全な医療を提供してまいります。

新型コロナウイルス感染症により、全国的に病院経営は甚大な被害を受けていますが、当院においても、令和2年度の

経営はますます厳しいものになっています。現在、令和3年度～令和7年度の第三次中期経営計画を、これまでの実績と現場の意見を参考に作成中ですが、各部門・各科において達成可能な目標を示し、収支改善にむけて、全職員一丸となって取り組んでまいります。

2019年9月「地域医療構想に関するワーキンググループ」で公表された、再編統合の必要性について再検証を求める424の公立・公的病院に当院が含まれており、住民や職員に大きな混乱が生じました。しかし、中川町長が、「かみいち総合病院を守り通す」と決意を示され、かみいち総合病院をみんなで守る取組みとして「がんばるかみいち総合病院応援プロジェクト」を立ち上げられました。このプロジェクトに賛同され、心温まる御支援をいただいた多くの関係者や住民の皆様へ、厚くお礼申し上げます。当院は、地域医療構想に応じて、2020年11月から一般急性期病棟1棟を地域包括ケア病棟に変更し、急性期、回復期の各病床がバランス良く機能する体制(一般急性期病棟1棟51床、地域包括ケア病棟1棟49床、回復期リハビリテーション病棟1棟48床、精神科病棟1棟51床)に再編しました。これにより、治す医療(急性期・亜急性期)から支える医療(回復期)まで、切れ目のない「治し支える医療」をこれまで以上に患者さんに提供し、地域密着型の病院として近隣の医療機関・介護福祉施設や行政との連携をさらに強化してまいります。

小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセル地球帰還成功は、プロジェクトマネージャーの津田教授が「100点満点で1万点の成果」と語られたように、本当に素晴らしい歴史的な快挙だと思います。「はやぶさ2」のミッション達成には6年が費やされており、この快挙を成し遂げるには、大変な日々の苦勞・努力があったと思います。スケールや分野が違いますが、我々も、当院の理念を遂行し、第三次中期経営計画の目標を達成するために、日々がんばらなければと、思いをあらたにしたところでもあります。

2021年、当院は開院70周年を迎えます。新型コロナとの戦いはまだまだ続きますし、病院経営も厳しい状況ですが、医療を通して住民が安心して生活できる地域づくりに少しでも貢献し、皆様の御要望・御期待にお応えできるように、地域に必要な地域密着型の病院、病院の規模は小さくてもきらりと光り輝く病院として、病院の理念と8つの基本方針のもと、病院全職員が一丸となってがんばっていく所存であります。引き続き皆様の御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、2021年も皆様全員が健やかに生活し、皆様にとりまして、より良き一年になりますことを御祈念申し上げます。私の新年の御挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 特定看護師とは

特定行為研修終了看護師  
緩和ケア認定看護師

織田 明



特定看護師とは、2015年に厚生労働省によって施行された「特定行為に関する看護師の研修制度」に基づき誕生した名称です。特定看護師という資格ではなく、「研修を修了すると特定行為を行えるようになる」というものです。特定看護師になると、以前は医師の指示がないと行えなかった難易度の高い診療補助行為（特定行為）を、医師が作成する手順書により、看護師の判断で実施できるようになります。この点が、一般的な看護師との違いです。「特定行為」とは、実践的な判断力や理解力、高度なスキルが必要な診療補助行為のことです。この制度ができた背景には「高齢化社会」が大きく関係しています。今後さらに高齢化が進むことで、在宅医療だけでなく、複数の疾患を抱える方やリハビリが必要な方など、多様な医療ニーズが高まるでしょう。高度な看護を実践できる看護師を育成することが必要になり、特定看護師の制度が設けられました。

医師の指示がなくても行える診療補助行為が増えたことで、看護師としての業務の幅が広がります。医師が作成する手順書に従って特定行為を実践できるので、患者さんのQOL(生活の質)に沿った継続的なケアがタイムリーに行えることができます。在宅や療養病棟で日常的に医療が必要な患者さんに対し、全身状態の管理等により、状態の悪化防止、異常の早期発見と対処を行い、患者さんやご家族が住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるように支援していきます。



## 健診センターからのお知らせ

令和2年度  
土曜日レディース  
健診受診状況報告について

6月～11月の第2・4土曜日 8:30～12:30  
実施日2020/7/11～2020/11/28 (計9回)

### 子宮 検診予約

頸部のみ… 42件  
頸部+頸体部… 76件

実施数 計 118

### 乳房 検診予約

MMG1方向… 28件  
MMG2方向… 106件  
(乳線エコー) (117)件

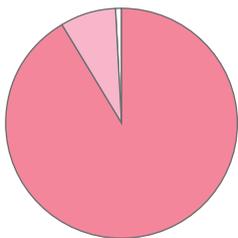
実施数 計 134

子宮・乳房  
合計人数  
158人

※コロナの影響で6月は中止 密を避けるため予約枠を25から15に削減

【アンケート集計】 20代…0人/30代…9人/40代…37人/50代…40人/60代…42人/70代以上…23人

### 質問1 感想



### 質問2 レディース健診を選ばれた理由

	はい	いいえ	どちらでもない
子宮がん健診が女性医師だから	120	0	13
乳房超音波(エコー)検査が女性医師だから	107	0	11
乳房マンモグラフィー検査が女性技師だから	119	0	8
すべてのスタッフが女性だから	136	0	6
健診を受けに来ているのが女性だけだから	122	1	11
待ち時間が短いから	109	2	29
土曜日で受けやすいから	126	0	18

【お問合せ先】かみいち総合病院 健診センター 直通TEL076-472-5136

※お問合せ・ご予約等は午後2時から午後4時までをお願いします。

# 地域包括ケア病棟開設のご案内

令和2年11月より、当院南3階病棟49床を「地域包括ケア病棟」として、開設いたしました。

## ■地域包括ケア病棟とは

一般病床で急性期治療の終了後、病状が安定すると退院となります。しかし、自宅や施設に帰ることに不安がある方や、もうしばらく入院を継続し、医療管理や看護、リハビリを行うことで状態の改善が見込める方に対して、患者さんがご自宅へ安心して帰れるよう支援するのが「地域包括ケア病棟」です。

在宅復帰支援計画に基づき、主治医・看護師・リハビリスタッフなどが協力して、患者さんの在宅復帰に向けた治療を支援します。

※地域包括ケア病棟の入院日数は、60日が限度となります。

## ■地域包括ケア病棟をご利用いただける方

在宅あるいは介護施設に復帰予定の方であればご利用できますが、主に次の患者さんが対象となります。

1. 急性期治療後、引き続き治療やケアが必要な方
2. 看護指導、介護指導が必要な方
3. 介護施設入所など準備が必要な方
4. 在宅療養中で一時的に入院が必要な方

基本的に急性期治療を終えて、病状が安定していれば、どのような疾患の患者さんでも受け入れ可能です。

ただし、脳血管障害など特定の疾患については「回復期リハビリテーション病棟」に入院していただくこともあります。(条件によっては、ご利用いただけない場合がございますので、お問い合わせください。)

## ■診療所・施設・病院など医療関係者の方へ

患者さんの転院・入院をご希望の際は、地域医療連携室にお電話でご相談ください。



お問い合わせ先 かみいち総合病院 地域医療連携室  
☎ 076-472-1212 (代表)  
電話受付時間 月～金曜日 8:30～17:00

## 患者サポート相談窓口のご案内

相談を希望される方は…  
窓 口 ● 患者サポート相談窓口 (北館1階)  
受付日 ● 月曜日～金曜日 (外来休診日・年末年始を除く)  
時 間 ● 8:30～17:15

当院担当職員が相談内容に対応いたします。

※窓口以外にも、電話や投書箱、E-mailでもお受けいたします。  
E-mailアドレス kanri@kamiichi-hosp.jp

相談内容

- 診療内容について
- 転院・施設紹介について
- 医療費・福祉制度について
- 個人情報・情報開示について
- 医療安全について
- 主治医以外の医師の意見 (セカンドオピニオン)
- ご意見・ご要望 その他



お問い合わせ先 かみいち総合病院 患者支援相談室  
電話: 076-472-1212 (代表)

## 職員募集

期間に定めのある職員を募集しています。



職種:  
看護師、助産師、  
薬剤師、看護補助者、  
管理栄養士 等

お問い合わせ先  
電話: 076-472-1212 担当/総務課 人事担当

# 外来患者満足度調査の結果

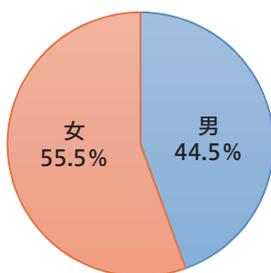
令和元年9月3日～

9月4日実施

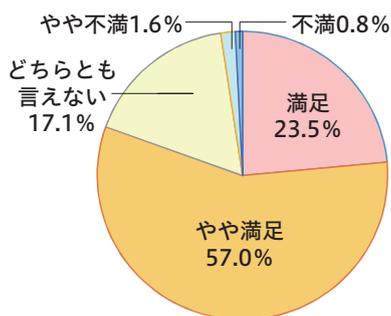
回答者数：277人

平均年齢：68.3歳

## 回答者の性別割合

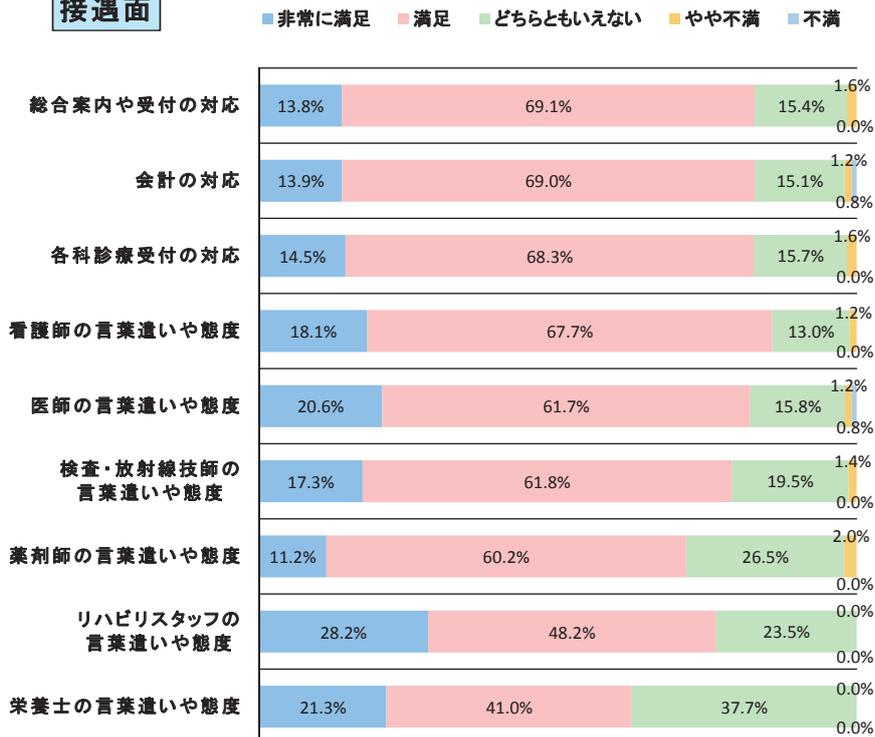


## 総合満足度

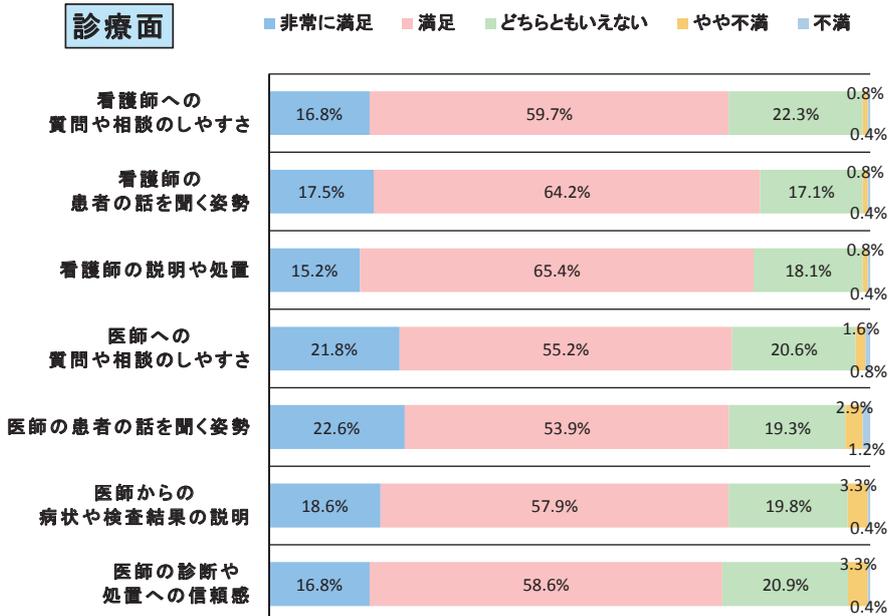


## 主要項目の満足度

### 接遇面



### 診療面



## 基本理念

「住民が安心して地域で暮らし続けるための医療の砦として私たちの病院が存在する。」

## 基本方針

- 1 患者さんへの思いやりを第一とし、患者さんの尊厳と権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに患者さんと共に創出する医療を提供し、患者中心の全人的医療を行います。
- 2 職員一人一人が「病院の顔」であることを自覚し、医療倫理を守り、真摯な態度で医療に取り組むことで安心・安全・良質な医療を行います。
- 3 専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽を重ね、知識・技術・医療水準の向上に励みます。
- 4 全ての職種が互いに信頼し協働して、多職種連携による充実したチーム医療を行います。
- 5 地域の基幹病院・在宅療養支援病院として医療・福祉・介護・保健分野と連携を促進し、地域包括ケアシステムの一翼を担う地域完結型医療を目指します。
- 6 住民との交流イベントや啓蒙活動を通じて、地域住民の健康増進と町づくりに貢献する地域に開かれた病院を目指します。
- 7 職員が働く喜びと誇りを持ち、安心して働ける充実した職場環境を整備し、明るい病院づくりと人材育成に力を入れます。
- 8 自治体病院としての公共性を担いつつ、経済性を考慮した健全で効率的な病院経営に努めます。